



瑞雲

## 開業当時の幕別駅

### 古い写真がみつかりました

止若停車場（現在の幕別駅）が開業したのは明治38年10月ですが、開業当時と思われる写真がみつかりました。

この写真は当時の止若村で写真店をしていた今福数平さんが写したものを数平さんの次男である今福数英さん（音

更町宝来）が保存していたものです。

そのころ幕別一の賑わいをみせていた猿別市街に停車場を設けず、柵のないうち牧場と言われていた止若村に設置した、という古い記録を証明する貴重な写真といえましょう。

また、開基86年にならんとしている現在の幕別市街と比較するとき、先人

の苦勞が並たいていではなかった事も、わかると思います。

温故知新という言葉があります。新しい年を迎えるにあたって最も大切な言葉ではないでしょうか。先人の苦勞を、もう一度ふりかえってみるのも決して無意味ではないと思います。

写真は開業当時の止若停車場

「瑞雲」の字は中楯内の  
広野誠寿さん（77歳）に  
書いていただきました。

—No. 287—

まくべつ

広報

1

1976

# 昭和51年度の町政は

# 4つの施策

# を中心にすすめます

わが国の経済が高度成長から安定成長へと移行しつつあることにともない総需用抑制政策がとられ、この結果、景気の大巾な後退と不況が進行、自治体の財政運営も例外でなく深刻化しております。だが、町政は一刻も休むことなく推進しなくてはなりません。

町では限られた予算を有効に使用し、町民の欲するところを最大限にとらえて各種

の事業を進めています。昭和51年度も不況の嵐の、まっただ中にありますが、幕別町100年の大計のもとに、昭和51年度の重点施策を決定しました。

昭和51年度の予算は、昭和51年度を初年度とする総合計画後期5カ年計画にもとずき、最少の経費で最大の行政効果をあげるよう種々検討を重ねております。昭和51年度の重点施策は次の通りです。

## 生活環境の整備

町民の皆さんが快適な日常生活をいとなむことが出来るよう、各種の事業を実施します。まず

■上下水道などの大型プロジェクト事業を計画的に推進します。

すでにご承知のように上水道は昭和四十八年から第一次拡張事業を実施しており、昭和五十三年の完成を目指して推進するとともに下水道事業も昨年からの計画に入り本年から事業を実施する予定のもとに計画をすすめます。この下水道事業に関連して

■生活関連道路の整備を実施します。

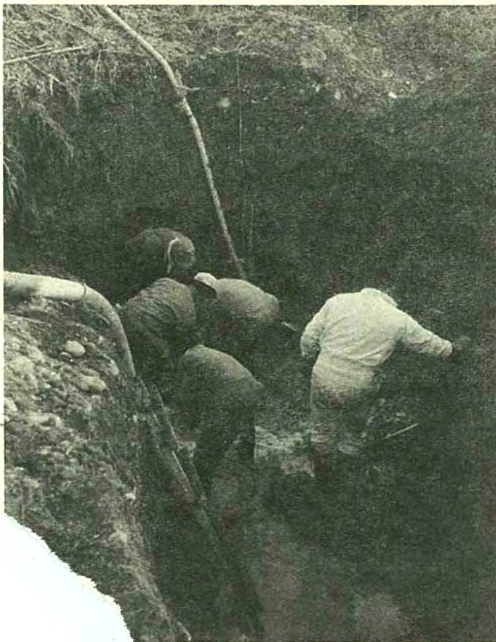
■公営住宅など住宅の建設と住環境の整備を実施します。

昨年十一月一日、本町では交通事故死ゼロ三百六十五日を達成しました。本町は交通事故死多発地帯と言われていただけに大変な金字塔で、更に事故死ゼロを推進するため

■交通安全の推進とともに防犯、防災対策を強化いたします。

また、町民の皆さんの集会施設である

■近隣センターを計画にもとずき建設いたします。



急ピッチで進む上水道工事

## 社会福祉の充実

児童を保育所に入所させ、安心して共稼ぎが出来るようにと、町では計画的に保育所の新築、整備を実施していますが、昭和五十一年度も

■保育所など児童福祉施設の整備と設備を充実してまいります。

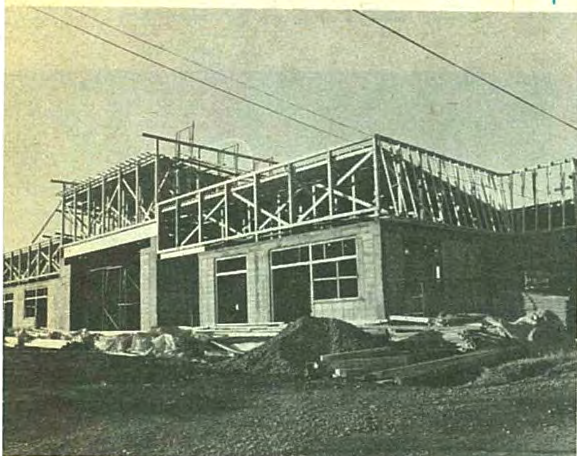
また、幕別町の発展のため、永い間苦労された、おとしよりの皆さんが、いつまでも元気に日常生活をおくっていただくため

■老人生きがい施策を鋭意、推進いたします。

このほか、交通事故などで遺児となった方々にたいする援助および町民全員が健康で明るい毎日を送ることが出来るように、という願いから、次のような施策を実施します。

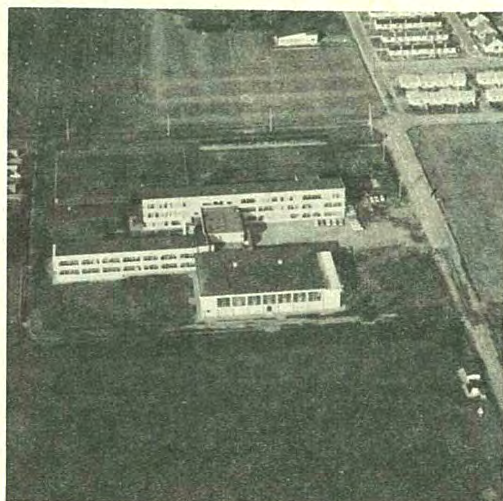
■遺児年金などの給付施策の改善、検討を実施します。

■保健活動と疾病予防対策を強力に推進いたします。



3月に完成する「みどり保育所」

## 教育文化の推進



空からみた札内中学校全景

次の世代を背負う青少年が、環境の良い施設で勉強出来るよう、老きゆう化した

■義務教育施設を計画的に整備いたします。

さらに教育効果を、より一層たかめるため

■教育設備を充実いたします。

日常生活を豊かにするには社会教育も欠かすことは出来ません。社会人として勉強しなくてはならない事は数かぎりなくあります。

また、車の普及から人々は歩くという大切なことを忘れてしまい、つれて体力が落ち、ひいては活気のない街となつてしまいます。このため

■社会教育、スポーツ活動を強力に推進いたします。

すなわち、年代別、男女別の社会教育講座を開催するとともに、年令にあわせたスポーツを奨励し明るい健康な街づくりの一助といたします。

## 産業の振興

わが国の食生活は、所得水準の上昇を背景に著しく変化し、つれて食用農産物の自給率も大幅に低下し、昭和四十八年度で七一%の自給率となっております。

石油ショック以来、資源、特に食糧問題について関心が高まり、食糧基地として北海道の重要性が認識され、わが幕別も例外でなく期待されております。このため

■産業道路の整備を進めるとともに魅力ある儲かる農業経営とするため

■農用地基盤整備事業を促進します。

また

■構造改善など農業近代化事業を推進いたします。

このほか不況の渦中にあつて経営安定に日夜努力している商業および工業にたいし、現在の融資制度を更に充実するなどの

■中

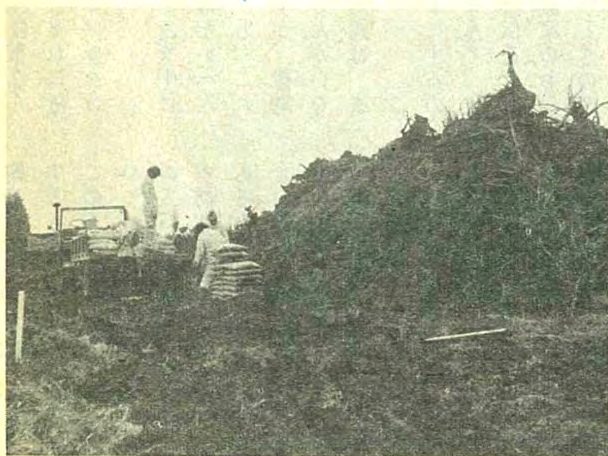
小企業

対策を

推進い

たしま

す。



古舞地区の農地造成工事

# 新春座談会

出席者 舛屋 正美 (新和)  
長谷川 薫 (新町)  
森田 善治 (本町)  
幕別町長・大石 忠夫



今年辰年、町内で成人を迎える方は二百五十八名います。そのなかから三名の方に大石町長をかこんで、仕事のこと、町政のこれからの方向などを話しあつていただきました。題して新春座談会。

町長 皆さん、おめでとう。  
一同 おめでとございます。

町長 幕別の発展の基礎を築いてきたおとしよりを大事にすること

町長 皆さんは十五日に成人になるんだが、今日は固苦しい座談会というのではなく、気軽に、いろいろ話したい。別をつくっていく青年や少年のためにも町が力をそそがなければならぬ。

別市街に建てています。しかし、札内の方も、すでにいつぱいになっているので早くお母さんたちに安心してもらえように仕事を進めなければと思います。  
舛屋さんは農業をやっているんだつたね。

幕別の基幹産業としての農業振興のために、生産向上、地力のおとろえにも取り組まなければなりませんし、農村と市街地区とを結ぶ道路網の整備、機械化促進の上から土地の凸凹をなくしたり区画整理もやっていかなければならないと思います。

森田 僕は今、建築板金の仕事をやっているんです。



町長 これからの世の中は、頭で仕事をやるよりも、実際に手足を動かす人が大事になってくるのではないかと、僕は、ほんとうにそう思う。技術が尊重される時代は、もう来ているんだから、自分の仕事に誇りと夢をもって「こんな仕事バカくさい」なんて思わないでがんばらなければ。

森田 どうなのか。でも、自分は頭がないから。  
町長 いや、それがうまくないんだよ。将来は、大学を出ても大工さんになり、板



町長 いや、

## 将来への夢を持つて

町長 今年農村青年の連絡協議会が結成二十周年だそうで、記念に植樹をしたので土地がないだろうかと話がありました。青年の人たちが将来を夢見てやっていく活動を大事にしていかなければと思います。  
ただ残念なことに幕別の町有林には大きな余裕がないんです。  
しかし、結婚記念の植樹として町有林の一面にといいことは考えられます。若い二人が植樹をし、一本なら枯れたら困るから(笑)

町長 いろんな点で農業を見おすとときだと思っんです。僕らは「この米はうまい」とか「うまくない」って言うてるけれども、世界の人口四十億のなかには、口に入る物ならなんでもいいという国もあるんです。日本だって食糧の総合自給率は七一%、あとは外国からの輸入に頼っているんですから、実際には日本の人口の三割は生きられないということだね。  
そんなことを真剣に考えれば農業の生産量を上げていかなければならないし、そのためには農産物の価格を保障していくことが必要だと思っんです。そうして安定した農業になれば、農業はバカくさいとはならないし、逆に農家にお嫁さんに行きたいという人がふえてくるかもしれない。  
そんな世の中に変えていくのは若い人が意識を持つて活動していくことだと思っんです。

「ゆとりを」

一同 (笑)  
 仲屋 僕は二十歳になったばかりで町政について、まだよくわかりませんが、町長として今年はどうやっていくんですか。

町内の小学校は、いずれも建てから何十年にもなるので、そろそろ改築しなければならぬときです。  
 保育所については、昨年暮

務系統の頭脳労働者があり余って供給過剰になってきているんだね。大工さんも板金屋さんも鍛冶屋さんも、二日や三日で一人前になるのでなくて、何年もかかって、た

五十年もの将来への夢を持つこともいいと思います。長谷川さんが結婚しておばあさんになったとき(笑)、子どもや孫に「おじいさんと結婚したときに、この木を植えたんだよ」って言えたらいいね。

# 人の心も明るい町に

町長 長谷川さんはこれからの幕別をどうしたらいいと思いますか。こんな幕別にしたいということがたくさんあるでしょう。

銀灯だけだったら、夜おそく人通りがなくなると淋しい感じがしてそこらへんから幽霊でも出そうだなものね。(笑)

今、若い人に大事なことは、人に責任をまかせないで、人に頼らず自分たちでやってみようという気持ちではないかと思っています。

記念に植樹したのはいいが、ケンカして離婚したときにはどうしたらいいかなんて考えたらだめだよ。(笑)。



長谷川 街灯が少ないので夜になると恐ろしいんです。痴漢が出ることを考えると、町を明るくしたり、道の両側の草を刈ると同時に、人の心も明るくなつたらと思います。

それと、長谷川さんが言ったように電気で明るい町と同時に、人の心が明るい町に、痴漢そのものがいなくてまっ暗な夜でも安心して歩けるような、悪い心もちをなくするような町にしたいもんだね。

長谷川 農村青年と町で働く青年それぞれで特色のある活動をするのはもちろんいいことだけど、何かをやるときには一体となつて青年の力を出し合えたらと思います。

町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

町長 街灯をつけてほしいという希望が昨年二百件ほどありました。半分はつけましたから、残りの半分を今年つけたら全部終わりかというところ、そうではありません。町が発展し大きくなるにつれて街灯が必要な所もふえていきますから、すぐに要望を100%実現は無理ですが、町だけの力でなく住民の人たちとも協力しながら、夜も明るい町にしたいものだと思います。

町長 青年にとつて、すばらしいことは将来に向かつて発展する力を持つていること。人生をどのように生きるか、それを探求していくことと、青年どうしの連帯感をつくっていくことが大事だと思

です。それと、飛躍することを考えることが必要ではないでしょうか。

町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

## 青年どうしのつながりを

仲屋 それから、痴漢の話とは関係ないんですが(笑)、青少年の育成については、どのような点に力を入れていくんですか。

町長 青年にとつて、すばらしいことは将来に向かつて発展する力を持つていること。人生をどのように生きるか、それを探求していくことと、青年どうしの連帯感をつくっていくことが大事だと思

町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

それから、水銀灯というのは青白い光で寒々とした感じがするの

町長 青年にとつて、すばらしいことは将来に向かつて発展する力を持つていること。人生をどのように生きるか、それを探求していくことと、青年どうしの連帯感をつくっていくことが大事だと思

町長 青年にとつて、すばらしいことは将来に向かつて発展する力を持つていること。人生をどのように生きるか、それを探求していくことと、青年どうしの連帯感をつくっていくことが大事だと思

町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

## 迎 妻

### 幕別町議会

- |     |       |
|-----|-------|
| 議長  | 山田 栄  |
| 副議長 | 中寺常次郎 |
| 議員  | 麓 治雄  |
| 〃   | 八十島宗正 |
| 〃   | 逢坂 又市 |
| 〃   | 国枝 光明 |
| 〃   | 千葉 清児 |
| 〃   | 廻瀬 茂  |
| 〃   | 須田 赳  |
| 〃   | 長崎 幸一 |
| 〃   | 岸上 利雄 |
| 〃   | 久保 実仁 |
| 〃   | 森脇 仁  |

- |    |       |
|----|-------|
| 議員 | 吉村 康一 |
| 〃  | 伏屋 隆徳 |
| 〃  | 折笠 要通 |
| 〃  | 黒島 利夫 |
| 〃  | 西田 猛  |
| 〃  | 吉田 善一 |
| 〃  | 小田 正松 |
| 〃  | 前川 吉雄 |
| 〃  | 細川 秀一 |
| 〃  | 加藤 雄一 |
| 〃  | 山崎 長一 |
| 〃  | 高橋 勇  |
| 〃  | 稲毛 空  |



町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

## 若い力を

### 何かに

町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

町長 最後みんなそれぞれ二十歳になつたらこうしたいという心持ちはどうか。

# 「あたたかみ

# 新しい年。昭和五十一年に望む

かつてない不況のうちに迎えた新春。この新春にあたって数人の方に「新しい年〇昭和五十一年に望む」と題して意見をのべていただきました。このほかにも多くの方々が、いろいろな要望、意見をお持ちと思いますが、昭和五十一年は、町民の皆さんが希望するような素晴らしい年の第一歩になってほしいものです。（敬称略）

## 農業の振興が第一

湊 良三郎

糠内（七十五歳）



日本中が不況となった今日、今までのような工業の順調な発展は

望めないでしょう。

これから発展する可能性があるのは第一次産業、とくに農業だと思えます。離農して町に出て行っても、人が余ってだんだん仕事はなくなっているようです。農業にとって良い時代が必ず来るから、青年は残ってがんばってほしいと思います。

近ごろ、工業を誘致してきていますが、人が生きるうえで欠かすことのできない食糧の生産の中心である農業にたいして、もつと町として力をそそぐべきではないでしょうか。

老人福祉については敬老会や老

人運動会などみんな喜んでおります。さらに老人が「長生きして良かったなあ」と思える施策を、ど

れんどん取り入れてほしいものだと考えます。

## 教育・福祉の充実

秋山 福治

新町（六十二歳）



緑町―新町―商店街を結ぶ幹線道路の整備をお願いしたいもので

す。土地の問題、町の予算もありましようが新町が最も遅れているようです。地域エゴではありませんが住む側の立場として早急に取

り組んでほしいと思います。明るい町政をすすめるためにはまず最初に何に手をつけるかということでしょう。あれもこれもという予算の立てかたではなく、何を優先させるかが大事な時代になってきています。

## 農業団体の連けい

横山 武

途別（四十歳）



昭和五十一年の町政に望むことは、まず、本町の基幹産業である

農業の振興策を考えてほしい。そ

れには役場、農業改良普及所、農協が連けいを密にし、例えば地帯別の作付五カ年計画をたて、きめ細かな営農生産指導にあたり、他町村にない幕別独自のカラーを出してほしい。我々も全面的に協力はおしまないつもりである。

更に農村青年が安心して働ける働きがいのある農業経営が出来るように花嫁を迎える運動や後継者対策に、もつと力を入れてほしいものです。

それと、米つくり農民として言いたいことは、国の農業政策から実施されている生産調整は、ナマクラな人間を増やす以外に、これという効果はないということで、国のあやまった農政にたいし我々の実情を良く知っている自治体から中央に改善方を申し入れていただきたいと思えます。

## 高齢者に働く場を

金子 光幸

札内市街（五十三歳）



道路がこのあたりは整備されておらず、八号道路が線路でさえぎら

れて孤立したような気がします。跨線橋を通すことで、アカシヤ団地との交流、往來が盛んになって市街地区の再開発にも結がると思

（七頁上段につづく）

## 叙勲祝賀会賑う

笹井さんと鍛田さん

笠井四郎さん（錦町）の叙勲祝賀会が十二月十日午前十一時から町民会館に約二百名の方々が出席して開催されました。発起人代表の商工会長齋藤正美さんは「我々の大先輩である笹井さんの栄与は、とりもなおさず私たち商工業者の栄与である」と挨拶、また笹井さんは「今後とも町および商工業の発展に微力ながら努力したい」と謝辞をのべました。（写真）

一方、鍛田進さん（春日）の叙勲祝賀会は十二月二十一日に春日近隣センターに地区の方々や、かつての上司、同僚多教が参加して受章を祝いました。



います。

それから、ほかの地区には近隣センターがあるが、旧市街については憩の場がありません。福祉センターに行けばいいのかもしれないが、一般的には開放されていない感じがします。碁会や歓談の場が身近にほしいものです。

これからの幕別の町づくりですが、ベッタタウン的な色彩と同時に公害をもたらさない軽工業を誘致すれば、町がもつとうるおうのではないですか。それによって高齢者の働ける場ができれば、なお良いと思います。明るく健康で幸せな生活をおくれる町づくり、それは幕別に住んでよかったですといえる

町にすることでしょう。

老人の生きがいについてもよく考えてみる必要があると思います。茶碗や土びんを焼くなども趣味として生きがいを感じていく性質のものだから、それはそれでいいしまた、自分の作ったものが売られてみんなに喜ばれるような技術を生身につけることもひとつの方向ではないでしょうか。

どんなことでもいいから何か生産に寄与できる姿は尊いし、非能率であっても大きな生きがいになる気がします。もちろん、社会保障制度が発達して生活不安がなくなるのが前提ですが……。

### 待つ余裕が必要

小沢 和枝

新町(三十四歳)



週休二日制になる私生活リズムは変わっていくでしょう。

ここで親子ともども、いかにして余暇を過すかが一家の課題になってまいります。例えば町営の運動公園にしましても広さに余裕がほしいと日頃から思っております。スポーツを通して町民が集う場所に

しては狭苦しさを感じます。

また、住民と行政側との話し合いの場が、いつも儀礼的に終わっているような気がしてなりません。意見を聞いただけではなく、それを町政にどう反映させるか明らかにしていただきたいものです。

住民の側としても考えなければならぬことは、計画されたことが実現するまでには、予算の面とか、その他で時間がかかる場合もあることを知っていなければならぬと思います。たとえば道路や街路灯をつける時でも「あっちをやるよりこっちが先だ」とか「こ

という声をよく聞きます。

な処置ではなく、将来、満足のいく確かなものを計画的に作りあげていく方が大切だということを、町民は知っていなければならぬでしょう。つまり「待つ余裕」を持つべきではないでしょうか。

このほか町の発展に大事なことは町民が町内にお金を返還することだが、町の財政を豊かにする基本になると思います。消費者は地元業者を通じて品物を購入し、商業者の方々も消費者の需要に応じてほしいと思います。

### 賀正

町長 大石 忠夫  
助役 高橋 一男  
収入役 小尾 丁二

られますので、伸び率はやや向上が見込みです。

なお帯広市をふくめた十勝管内の総人口は三十四万二千二百六十八人が昭和四十五年にくらべ二千二百三十人の減、また帯広市を除いた十勝管内の人口は二十一万二千八百七十八人で一万二千四百四十人も減っています。

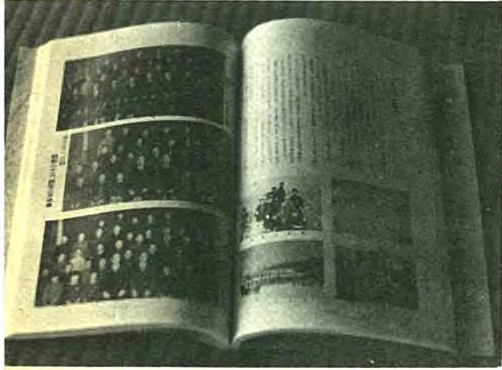
## 古舞小で開校70周年を祝う

古舞小学校開校七十周年記念協賛会(大岡初五郎会長)では、かねてから編新中だった記念誌「あゆみ」が完成をみたため、十二月七日の記念式で出席者全員に披露しました。

この記念誌は、校舎全景をカラー印刷したほか、内容も『学校創設のころ』、『戦火に学ぶ』など十四項目をB五判二百十ページにまとめたすばらしいものです。なお、古舞小学校の創設は明治三十八年九月、大正九年には

百五十六名に達した児童数も現在は十九名に減ってしまいました。記念式には地区の方たち全員が集まり母校の七十周年を祝いました。

写真完成した「あゆみ」



昨年十月一日現在で行なわれた国勢調査の結果が、このほど概数として発表されました。

これによりますと本町の人口は一万八千四百四十六人(男九千八十七人、女九千三百五十九人)、世帯数は五千九百九十九世帯、昭和四十五年の国勢調査にくらべ人口では六十人、世帯数では五百七十世帯とい

## 一万八千四百四十六人

国勢調査の概数

前回より六十名増

しかし人口がわずかに六十人の増加にとどまったことは、今後国が行う内容分析の結果をまたなければ正確なことは言えませんが、昭和四十五年の国勢調査にくらべて農業地域の人口が一千七

百人以上もへってあり、その反面市街地域の人口の伸びはあっても、

では二百二十世帯もへっており、ここ五年間の社会変動のはげしさをあらわしております。国勢調査の結果から今後の人口を予測しますと、市街地域では引き続き増加の傾向にあり、農業地域の人口減もごくわずかと考え

市町村別にみても人口が増えたのは本町のほか帯広、音更、芽室、新得のみでほかの十六町村はいずれも減少しており、人口が都市やその周辺町村に集中する傾向は当分つづくものと考えられます。

お誕生おめでとう

- 遠藤 里美 克己・長女(幸町)
- 高橋 奈々 貢・長女(旭町)
- 助川 徹 正志・二男(新和)
- 佐藤 昌宏 昌友・長男(旭町)
- 伊賀 慶子 政司・二女(新川)
- 金曾 未央 勇一・長女(旭町)
- 星 徳 仁・二男(明野)
- 長野 美鈴 良昭・二女(五位)
- 長野 匡一 良昭・長男(五位)
- 内野 靖子 忠英・二女(依田)
- 藤原 智哉 徳英・二男(札内)
- 牧野 雅 実・長男(札内)
- 大野留美子 弘文・二女(途別)
- 中野 浩美 繁男・長男(札内)
- 松下 錦称 利一・長男(札内)
- 佐々木大輔 正吉・長男(札内)
- 佐々木勇輔 正吉・二男(札内)
- 小野 英樹 彰・長男(札内)
- 稲葉真理子 光雄・長女(札内)
- 稲葉 真彦 光雄・長男(札内)
- 山崎さおり 武弘・長女(途別)
- 白岩 星美 岩雄・長女(札内)
- 高橋 哲嘉 俊文・二男(札内)
- 富田 勝二 寿三男・長男(栄)
- 牧野 聡子 通幸・長女(途別)

結婚おめでとう

- 常丸 征美 稔・長男(札内)
- 中橋 幹直 勝美・長男(札内)
- 松村 智裕 博義・長男(札内)
- 平山 聴一郁 子(柴田) 寿町
- 真鍋 良一友 子(小笠原) 相川
- 伊藤 光一明 子(白谷) 幸町
- 鱸 一郎幸 子(鳴田) 緑町
- 西田 遠一美代子(松井) 旭町
- 篠島 倫博一玲 子(島深) 千住
- 松田 育礼一澄 子(四万) 古舞
- 大和田 進一とし子(古川) 札内
- 塩谷 賢一恵美子(鈴木) 依田
- 長岡 昭之一千代恵(松浦) 札内
- 西村 昌一さん(五位) 七十三歳
- 石川 徹さん(相川) 五十七歳
- 氏原よしいさん(錦町) 六十歳
- 高島 伴吉さん(駒島) 七十二歳
- 小林 章男さん(幸町) 七十一歳
- 山本 守さん(錦町) 四十三歳
- 伊藤 千春さん(緑町) 十八歳
- 牧野 武雄さん(札内) 五十三歳
- 佐々木勇輔さん(札内) 〇歳

出初め式は七日から

一月七日から消防団の出初め式があります。  
 神社参拝のあと市中パレードを行なう予定で、日どりは次のとお

- 第一分団(幕別) 一月七日
- 第二分団(札内) 一月八日
- 第三分団(糠内) 一月九日

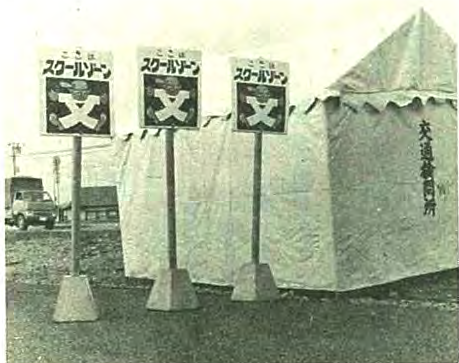
篤志寄付ありがとうございました

- 清川 岩雄さん(札内) 四十七歳
- 相沢 時治さん(千住) 八十五歳
- 東条 勇さん(札内) 六十六歳
- 麓 ソノさん(依田) 六十九歳
- 内海 章子さん(依田) 五十七歳
- 前谷 はるさん(依田) 七十三歳
- ビデオコーダー一式 万和建設株式会社(万良策社長)より創業二十周年を記念し社会教育、広報業務に使用してほしいと寄付(写真)



時間は、いずれも十一時からとなっております。  
 幕別の防火の歴史は、明治三十八年に私設の幕別防火組合の結成に始まり、長い間の関係者の力で現在は施設、消防力ともに向上してきています。

五万円 齊藤栄一さん(本町)より全快を記念して愛育園へ。



- 三十万円 万和建及株式会社より創業二十周年を記念して町社会福祉協議会へ
- 五万円 杉本清一郎さん(札内)より交通安全に使用してほしいと指定寄付。
- 千円 匿名の方より恵まれない子供さんにと町社会福祉協議会へ
- 三万円 安藤弘さん(相川)より妻が生前お世話になりましたと町社会福祉協議会へ。
- 二万円 藤平清志さん(本町)より高齢福祉年金受給を感謝し町社会福祉協議会へ。
- 二十万円 札内トラック株式会社(松野健一社長)より交通安全協会に十万円、交通安全推進委員会に十万円をいただきましたので交通検問所天幕二張、スクールゾーン標識二十本を購入いたしました(写真)

五万円 齊藤毅雄さん(旭町)より歳末たすけあい運動の一助にしてほしいと寄付

五万円、西村正治さん(五位)より父が生前お世話になりましたと町社会福祉協議会へ。



- 三十万円 齊藤毅雄さん(旭町)より歳末たすけあい運動の一助にしてほしいと寄付
- 三十万円 笹井四郎さん(錦町)より叙勲受章を記念し図書館整備資金の一助にと寄付。
- 三十万円 日成ブロック工業株式会社(齊藤正美社長)より歳末たすけあい運動の一助にと寄付しました。(写真)
- 酒一升 サイダー一箱 高橋マサエさん(旭町)から旭町老友会へ寄付。
- 五万円 相沢忠雄さん(千住東)より祖父が生前お世話になりました札内寿会へ。